

埼玉育ちのグローバル人

世界は面白い！地球を歩こう！！



第1回「学生の時に会った カンボジアでの経験から」

矢田部 建佑さん



はいさい！

現在は沖縄県で JOCA(青年海外協力協会)という組織で働いている矢田部 建佑と申します。沖縄県内にいる子ども達を中心に、世界(発展途上国)の現状を伝え、国際協力をより身近に感じていただくことや、自分たちにできることを考えるきっかけとなるようなお仕事をしています。前職では、JICA 埼玉デスク国際協力推進員として3年間上記の内容を埼玉県で行っていた他、地域と国際協力を繋げるお仕事をしていました。

みなさんは“世界”を身近に感じたことはありますか？また、“発展途上国”と聞いてどんなイメージをしますか？私は幼少期の頃、『世界ウルルン滞在記』や『世界ふしぎ発見！』など、世界と関わる番組を観るのが大好きでした。なんとなく、地球に生まれて日本だけで生涯過ごすのはもったいない、というのが物心ついた頃からありました。

発展途上国と関わる最初のきっかけは二十歳の時に訪れたカンボジアです。ゼミの先生であり、恩師である方がスタディーツアーを企画され、それに参加したのが始まりでした。シェムリアップ空港に着いた時の香りや、カラッとした気候、どこことなく懐かしいような感覚、12 年前になりますが今でも鮮明に覚えています。

先生や教材が足りない中、多くの子どもたちが通う学校、通学路の途中橋が壊れ、泳いで登校する

子どもたち、アンコールワットなどの観光地で、日本語で話しかけ物売りをする子どもたち、日本で過ごしてきた自分にとってカルチャーショックと共にそんな中、もちろん大変なこともある中で楽しく過ごす子どもたちの逞しさを感じました。また、現地の日本語学校(国際日本文化学園)で日本語を学ぶカンボジア人の人達とはこの訪問以来、現地で観光地の日本語ガイドをする他、現在日本の学校へ通っていたり、就職しお仕事に就いており、現在もたまに会ってキャンプしたり、遊んだりする仲です。



現在も関わるカンボジア人の友だち

10 年前にアンコールワット周辺をランニングした時の

昨年の 8 月(2022 年 8 月)で 10 回目のカンボジア訪問となりました。1 回目の訪問以降、学生時代に“Little Pumpkin”という学生団体を立ち上げ、カンボジア人との交流や現地の図書室支援、年に 1

回のスタディーツアー企画といった活動をしてきました。個人的にも、国際日本文化学園でのボランティアを通じ、多くのことを経験し学んできました。



日本語学校を卒業したカンボジア人の友だちと
船に乗ってトンレサップ湖を遊覧(2022 年 8 月)

こうやって 12 年経った今も大事な友だちが現地や日本にいることをとても嬉しく思いますし、生涯関わっていきたいと思えるようなとても大切にしている人達です。

この 12 年の間、カンボジアと関わり続けたわけですが、今から 7 年前にカンボジアでの経験を他に生かせないかと思い、JICA 海外協力隊の試験を受けました。この頃の仕事はプールのライフセーバーでしたが、学生時代にとった教員免許を持っており、小学校の先生としてとある国へ派遣されることとなります。当時 25 歳です。

第 2 回は JICA 海外協力隊での 2 年間の活動について紹介していきます。お楽しみに！！



友だちの赤ちゃん(キコくん)



10 年後のキコくんと久しぶりに再会